

2018（平成30）年度

学校法人 ルーテル学院
事業計画書（案）



日本ルーテル神学校

目 次

基本方針	1
【1】教育	1
【2】研究	1
【3】学生支援・就職	2
【4】国際化	2
【5】学生の受け入れ	2
【6】組織運営	3
【7】経営	3
【8】自己点検・評価	3
【9】施設・設備	3

基本方針

本学は、「キリストの心を心とする」という建学の精神を掲げ、キリスト教を基盤とした人格教育のもと、ルターの宗教改革の精神に基づき、特に心と福祉と魂の高度な専門家を養成することを目的としています。

本学が置かれている極めて厳しい外部環境の中で、建学の精神に立脚し、ミッションステートメントに掲げる教育的使命と教育目標のいっそうの実現を目指してまいります。

本学が存続しさらに発展していくために、全学的共通理解とコンセンサスの上で、何を優先課題とし、何に人的、財的資源とエネルギーを注入すべきかについて、2016年度から2020年度の中期計画を基軸とした総合計画に基づき、2018年度の計画を実施してまいります。

【1】教育

本学の使命（ミッション）を達成するため、教育研究等における質向上への取り組みを行ってまいります。

（1）対人援助に必要な人間理解におけるキリスト教主義の教育を推進

- ・キリスト教における総合的・包括的人間理解の体系的な教育を推進します。

（2）学部教育の充実

- ・2017年度に組織改編が完成した1学科5コース制のもと、学際的な学びの可能性をよりいっそう広げられる科目を提供するために、教養科目と専門科目のバランス、カリキュラム構成や取得可能な資格、時間割等について検証を続け、履修指導などの改善に向けた取り組みを推進します。
- ・年々、参加者も増えて好評を得ている入学前教育の改善とともに、初年次教育との連携により、学生の学力の把握と学力に合わせた支援体制の整備を行います。

（3）大学院教育の充実

- ・博士前期課程・修士課程において、専門家を養成し、講義、実習、演習を通して、価値を身につけ、理論と技術を統合させる教育を継続します。
- ・博士後期課程における研究者養成や、理論と実践を統合できる現場の専門家の養成を推進します。

【2】研究

社会福祉・臨床心理・キリスト教領域を総合的・包括的に研究できる拠点として研究環境の充実と強化を図ってまいります。

（1）社会や地域に貢献できる研究体制

- ・附属機関のコミュニティ人材養成センターや包括的臨床コンサルテーション・センターなどの活動を通して、本学の3領域の教員や研究者が継続的に関わり、情報交換を行い、総合的・学際的な研究環境を充実させます。
- ・社会や地域のニーズに応える研究や本学が持つ国際的ネットワークを生かした研究を推進します。
- ・研究成果を社会や地域へ還元していくため、積極的に学会発表や論文、著書を発刊してまいります。

（2）附属機関の研究活動

- ・ルター研究所、臨床心理相談センター、コミュニティ人材養成センター、包括的臨床コンサルテーション・センター、デール・パストラル・センターそれぞれの研究計画に基づき、活動を充実させます。

【3】学生支援・就職

学生（学修）生活に関する環境や相談体制を整え、社会人としての自立に向けた支援を行うことで、建学の理念を基盤とした人間的成長を全学的に促進してまいります。

（1）学生経済支援制度

- ・学生を取り巻く生活環境や社会環境を踏まえ、更に各種経済支援制度の改善に取り組みます。

（2）健康管理支援体制

- ・健康管理室、学生相談室、そして2017年度から採り入れた学部1年生を対象としたアドバイザー制の連携により、支援体制を充実させます。

（3）就職支援体制

- ・キャリア形成に対する意識を高める取り組みを継続し、その推進を図ります。
- ・様々な背景をもつ学生への支援を強化します。
- ・資格を取得する学生への支援を継続し、さらに充実させます。
- ・一般就職を希望する学生への支援を継続し、さらに充実させます。
- ・企業、求人、インターンシップの開拓を継続し、さらに充実させます。

（4）障がい学生支援体制

- ・学生相談室・健康管理室・就職支援委員・障がい学生コーディネータとの更なる有機的な連携を推進します。
- ・各コースと図書館が連携し、学修支援態勢を推進します。

【4】国際化

国際性を育む大学、大学院、附属研究所として国際交流活動を積極的に推進するための運営体制、およびプログラムを整備し充実してまいります。

（1）国際交流体制の整備

- ・欧米およびアジアの拠点校を中心に、本学の特色を活かした国際交流プログラムを展開します。

（2）国際交流プログラムの充実

- ・交流協定に基づく留学プログラムを強化し、留学機会を提供します。

【5】学生の受け入れ

アドミッションポリシーに基づき、学生募集活動を展開してまいります。

（1）学生の受け入れに関する体制

- ・受験生の能力・適性を多面的に評価する方法、多様な背景を持つ学生の受け入れ等について点検を行い、適切に見直します。
- ・本学のアドミッションポリシーに基づき、新入試制度も踏まえ、入試の実施方式を決定します。

（2）広報活動

- ・入学志願者に対して必要な情報や本学の特色が伝わる効果的な広報戦略に基づき、広報活動の改善を図ります。

【6】組織運営

組織運営に関して継続的な改善、効率化を図ってまいります。

(1) 組織運営

- ・新学長のもと、1学科制における組織運営の課題を検証し、体制を整えます。

(2) 事務体制と運営

- ・人的資源の適切且つ効果的な体制整備を行い、組織の強化を図ります。

【7】経営

経営基盤を強化し、財務内容の均衡を図ってまいります。

(1) 財務計画

- ・中・長期の財政計画により、財政基盤の安定化を図ります。
- ・外部資金の積極的な獲得に努めます。

【8】自己点検・評価

内部質保証に資する、自己点検・評価の体制を整備してまいります。

(1) 内部質保証

- ・昨年度に受けた第三者認証評価に基づき、自己点検・評価の方法を効率化し、評価結果を有効に活用する体制を整備します。

(2) 情報公開や情報発信等

- ・全学の教育研究等に関する情報の公開、発信等の充実を図ります。

【9】施設・設備

キャンパスの快適な学修環境・自然環境の維持発展に努めてまいります。

(1) 施設設備の整備・活用

- ・キャンパス整備のためのマスタープランについて検討します。

(2) 情報設備の整備

- ・総合的な学内情報基盤の整備について検討します。

以上